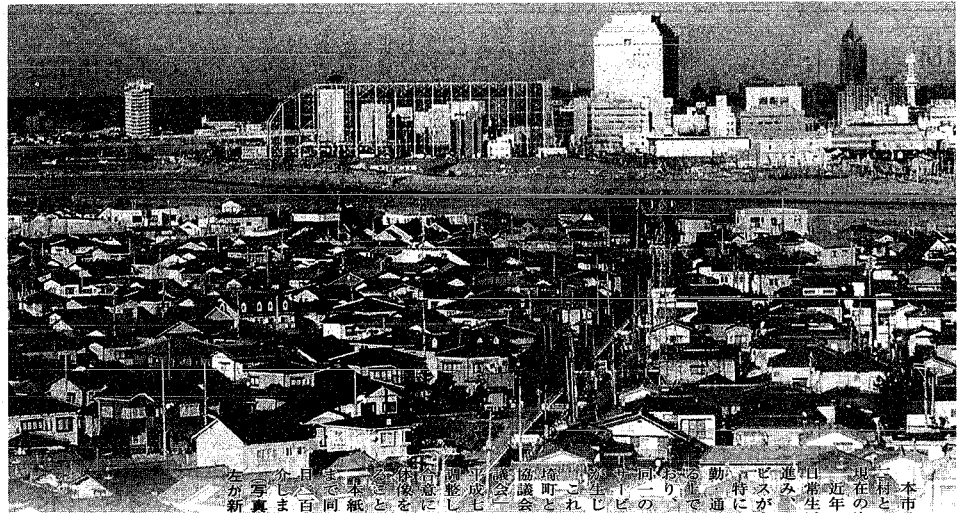


次代へ向けて一歩前進

中間報告

新潟市・黒埼町任意合併協議会

行政制度ほぼまとまる



本市は、過去八回にわたる三町十村との合併によってもに発展し、現在の姿になりました。

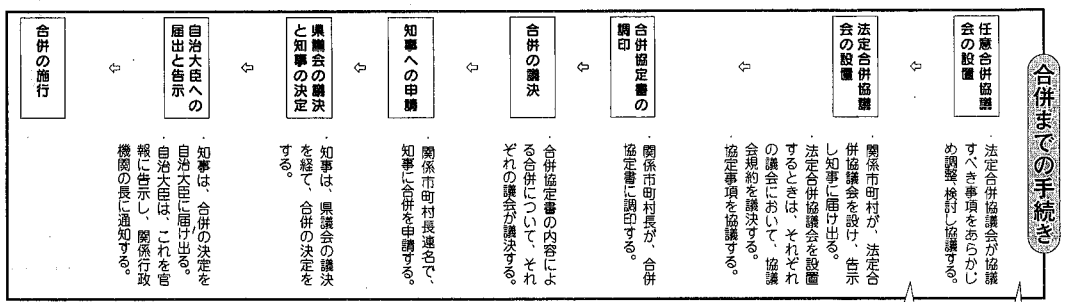
近年は、本市を中心とした住民の日常生活圏の広域化・一体化が一層進み、それに伴って新しい行政サービスが求められています。

特に本市と黒埼町については、通勤・通学、買い物など日常生活を営む上で両町の境界があるため、同一の生活圏に在る住民が同じ行政サービスを受けられないという状況が生じています。

これらの状況を踏まえ、本市と黒埼町との合併問題を検討する任意の協議会「新潟市・黒埼町合併問題協議会」（会長・長谷川市長）では、平成七年二月から行政制度について調整してきましたが、このたびはほぼ合意に達し、今後はまちづくりの全体像を示す建設計画について協議することになりました。

本紙では、合併の必要性や、これら同協議会で話し合われた行政項目（約五十項目のうち主なものを紹介します）三・四面。

写真中央の道路が両町を分け、左が新潟市小新、右が黒埼町寺地

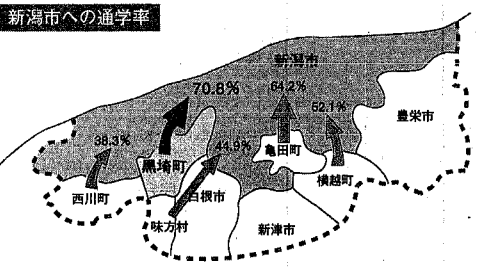
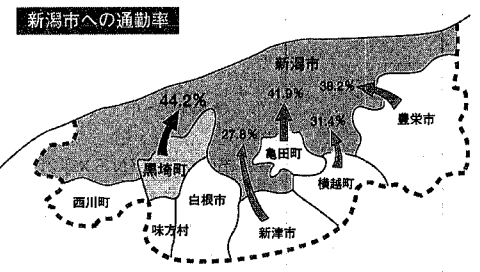


黒埼町との合併問題の経緯

- 平成元年一月 浅妻町長が、合併に關して住民アンケートを取ることを公約に掲げ当選
- 平成三年一月 黒埼町が合併問題の住民アンケート調査を実施（アンケート調査及びどうにかと言えは賛成が六七・六％、合併に反対が二六・八％、わがらが二・六・八％、わがらが二・六・八％）
- 平成五年十月 浅妻町長が、任期内（平成九年一月）合併を公約に掲げ再選
- 平成六年十一月 長谷川市長が、黒埼町との合併先約に署名
- 平成七年二月 第一回「新潟市・黒埼町合併問題協議会」を開催

※以後、平成八年十一月までに計七回の協議会を開催し、行政制度（二百五十項目）の合併後の取り扱いは、一項目を除き合意。残った「水道料金」と「下水道施設協議会」は、今後、建設計画と並行して協議されます。

周辺市町村から新潟市への通勤・通学・買い物の状況



黒埼町一口メモ

沿革 川と平野にはくまされる田園都市。園芸作物などの都市近郊型農業の町として発展しています。また、北陸自動車道、国道8号などの交通結節点を生かした流通機能や総合病院、「新潟ふるさと村」を中心とする観光施設などがあります。

面積 25.85km²

人口 23,605人（平成7年国勢調査）

世帯数 6,792世帯

特産品 黒崎茶豆、砂時計など

黒埼町との合併の必要性

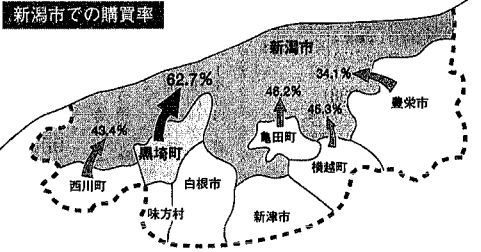
地理的な一体化
黒埼町は、本市の中心部からわずかに離れた南西に位置し、しかも、くさび状に本市に食い込んでおり、その市街地は本市と連続し、地理的に一体化しています。

生活圏の一体化
交通体系の整備が進み、黒埼町から本市への通勤依存率は四四％、通学依存率は七一％、さらに買物依存率は六三％と周辺市町村の中では一番高く、本市と黒埼町とは行政区域を越えて、生活圏の一体化が最も進んでいるといえます。

同様な行政サービスを望む声
生活圏の一体化に伴い、行政区域を越えて、同様な行政サービスを受けたいというニーズも生じてきています。

行政基盤の強化
地方分権の受け皿として、また、今後の高齢化の進展に伴い、介護保険制度をはじめ福祉施策の一層の充実が求められており、これらのニーズにこたえていくためには、自治体として行政の基盤（能力）を強化していく必要があります。

両市町村の一層の発展
このような地理的条件、生活圏の一体化を背景に、自治体としての能力を高め、住民福祉を向上し、さらなる発展を図るためには、合併は有力な「手段」であり、合併は新潟市と黒埼町がともに一層発展するために必要だといえます。



（注）新潟市への通勤率・通学率：平成2年国勢調査 他の市町村の15歳以上の就業者及び通学者が、新潟市へ通勤・通学する割合
新潟市での購買率：新潟県「新潟県広域圏商圏調査報告書」平成8年3月 他の市町村の消費者が、新潟市で買い物（全品目）をする割合上位の5市町村を記載

合併の効果

- 生活環境の一体的、効率的な整備
合併により、両市町が別々に整備してきた道路・公園などが、一体的、効率的に整備され、生活が便利になり、経費も節減でき、より無駄のない行政運営ができるようになります。
- 不便の解消、施設利用の便利さの増大
例えば、
・現在は利用できない勤務地に近い保育園等の施設も利用できるようになります。
・勤務地で住民票交付などの行政サービスを受けることができるようになります。
・自分たちの施設として利用できるスポーツや文化施設なども増えます。
- 合理的な土地利用
土地利用を広い範囲で考えることができ、より多くの都市機能の集積を実現できます。また、工業団地や流通団地、住宅地の開発がより容易になり、インターチェンジや環状道路などもより大きな計画の中で実現されるようになります。
- 受益と負担の一致
文化・体育施設などは、新潟市民に限らず利用できますが、合併によりサービスを提供する市と税を納める住民の範囲が一致することになり、受益と負担の不一致が解消されることとなります。
- 50万都市の実現
・合併により日本海側の50万都市が早期に実現し、政令指定都市の法律要件も満たすこととなります。
・人口の増加と都市機能の集積で民間企業や高等教育機関の進出が活発になり、雇用の増大や若者の定着が期待できます。
- 交付税措置などが適用
財政的には黒埼町の行政水準を新潟市と同じ水準まで高めるための経費や、市町村建設計画のための財源などが必要ですが、これらには合併に伴う交付税措置などが適用されます。

任意合併協議会の今後の予定

今後、任意合併協議会では①合併市町村の建設の方針②合併市町村の建設の根幹となるべき事業に関する事項③合併市町村の財政計画などを定めた市町村建設計画案を協議します。

市町村建設計画の合意がなされると、その結果は、行政制度の合意分と合わせ、任意合併協議会報告書としてまとめられ、合併後の全容が明らかになります。

献血バス「ゆうあい号」

月日	会場	時間	備考
1・27	三菱マテリアル新潟工場	午前9時～午後3時	（小会場）
1・28	新潟県立長岡高等学校	午前9時～午後11時	
1・31	新潟県立長岡高等学校	午前9時～午後3時	（大会場）
2・1	NEXT21	午前9時～午後3時	（西会場）
2・3	東北電力新潟発電所	午前9時～午後3時	（大会場）
2・4	北陸電力新潟発電所	午前9時～午後3時	（大会場）
2・6	県立新潟女子短期大学	午前9時～午後3時	（大会場）
2・7	県立新潟女子短期大学	午前9時～午後3時	（大会場）
毎日	全血献血・成分献血	午前10時～午後1時	（大会場）
（※）	4. 東海地区（大会場）	午後2時～5時	（大会場）

※受付時間は県立血液センター（☎230-1702）へ

酒害相談

対象 酒で悩んでいる人、または家族

月日	会場	時間	申し込み
2/3・17	東保健所	午後1時	電話で会場へ
2/12・26	西保健所	午後3時	（秘密厳守）

医師による精神保健福祉相談

月日	会場	時間	申し込み
毎週木曜日	東保健所	午後1時	電話で会場へ
毎週火曜日	西保健所	午後3時	（秘密厳守）

ボランティア入門講座

日時 2月6日～3月6日毎週木曜日午後7時～9時 内容 視覚障害者介助法、ほか会場 市社会福祉センター（八千代1） 定員 先着30人 参加費 500円 申し込み 電話で会場（☎243-4370）へ

フッ素塗布

受付時間 午前9時～10時半
対象 4歳未満児
持ち物 母子健康手帳、料金970円

月日	会場	定員(先着)	申し込み
2/13・27	東保健所	各日60人	電話で会場へ
2/20	中地区保健センター	60人	東保健所へ
2/27	鳥屋野地区保健センター	80人	
2/21/9	石山地区保健センター	100人	電話で会場へ
2/14	坂井輪地区保健センター	60人	会場へ
2/6・19	西保健所	各日60人	

はじめての離乳食

内容 離乳のすすめ方、試食と話し合いの対象 生後4カ月以上達した子どもの母親または保育者 持ち物 母子健康手帳

月日	会場	時間	申し込み
2・5	東保健所		
2・27	西保健所		
2・21	坂井輪地区保健センター	午後1時半	電話で会場へ
2・25	鳥屋野地区保健センター	午後3時半	会場へ
2・28	西地区保健センター		
2・12	石山地区保健センター		

風しん抗体価検査

日時 2月24日午前9時～9時半受け付け
対象 4歳未満児
会場 東保健所 料金 800円
対象 18歳以上の女性（妊娠中の人を除く）
申し込み 電話で会場へ（予約制）

3歳児健康診査

対象 平成5年8月生まれ（北地区会場は9月生まれも含む）
持ち物 母子健康手帳、問診票、尿、印鑑
※問診票と尿容器は対象者に郵送します
問い合わせ 東・西保健所へ

股関節検診

対象 平成8年10月生まれ
持ち物 母子健康手帳、レントゲン診断料1,220円
（東保健所会場） 受付時間 午後1時～2時

1歳6カ月児健康診査

（西保健所） 受付時間 午後1時～2時
2・6 奥野、有明台、浜浦、白山、鏡湖、磯、曹山、栗野山、新潟
（西地区保健センター） 受付時間 午後1時半～2時
2・20 内野、西内野、木山、堂木、小瀬、赤塚
（坂井輪地区保健センター） 受付時間 午後1時20分～2時
2・14 五十嵐、真砂、坂井輪、坂井輪、新潟、小針
（入舟地区保健センター） 受付時間 午後1時20分～2時
2・13 入舟、栄、豊原、漢

1歳6カ月児健康診査

対象 平成7年7月生まれ（曾野木・入舟地区会場は8月生まれも含む）
持ち物 母子健康手帳、フッ素塗布希望者は料金970円
（東保健所） 受付時間 午後1時～2時
2・3 万代、南万代、長瀬、沼澤、大形、竹尾、笹口、堂竹山、木戸、牡丹山
（曾野木地区保健センター） 受付時間 午後1時～2時
2・3 曾野木、東曾野木、酒屋、野野
（石山地区保健センター） 受付時間 午後1時～2時
2・14 中野山、東中野山、南中野山、山崎、桜が丘、江崎、丸山、大瀬
（鳥屋野地区保健センター） 受付時間 午後1時～2時
2・6 上野、女池、鳥屋野、上山
（中地区保健センター） 受付時間 午後1時～2時
2・17 山の下、桃山、東山の下、下山、竹尾、木戸

遺伝相談

日時 二月十三日・二十七日午後二時半から
会場 西保健所
内容 新大医師の個別相談（秘密厳守）
申し込み 電話で会場へ（予約制）

育児相談

持ち物 母子健康手帳
申し込み 当日直接会場へ

月日	会場	時間	備考
2・20	東保健所		
2・5	鳥屋野地区保健センター	午後1時半～3時	
2・6	石山地区保健センター		
2・14	中地区保健センター		
2・25	北地区保健センター	午前9時～11時	
2・12	曾野野地区保健センター	午前10時～11時半	

※印は栄養士の相談あり

1歳誕生歯科健康診査

対象 平成8年2月生まれ（北・西地区は3月に実施）
持ち物 母子健康手帳、フッ素塗布希望者は料金970円
問い合わせ 東・西保健所へ
※案内は対象者に郵送します

花の写真教室

日時 2月7日～28日毎週金曜日午前10時～正午 会場 蘭屋地区公民館
定員 先着20人※実費負担あり
申し込み 会場（☎266-4939）へ

任意合併協議会の今後の予定

今後、任意合併協議会では①合併市町村の建設の方針②合併市町村の建設の根幹となるべき事業に関する事項③合併市町村の財政計画などを定めた市町村建設計画案を協議します。

市町村建設計画の合意がなされると、その結果は、行政制度の合意分と合わせ、任意合併協議会報告書としてまとめられ、合併後の全容が明らかになります。